

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 総務区政課		重点項目 ・局の総括 ・地域に最も身近な区役所が、地域のニーズを的確に把握し、住民主体のまちづくりを推進する。 ・区行政の拠点である区役所・出張所施設の維持・改善を図る。							
	課長名	丸山 保		R1(2019)年度当初予算額(A)	1,251,544 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	1,205,122 千円		係長	2	人	
				増減額(A-B)	46,422 千円		職員	7	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				区行政推進事業(投資)			21,475	19,543	-1,932
2				区行政推進事業(行政)	地域にとって最も身近な存在である区役所が、地域のニーズや特性を踏まえた事業を行うことにより、地域課題の解決や住民主体のまちづくりを推進する。		154,530	139,417	-15,113
3		○		<新>区行政推進事業の拡充				500	500
4		○		<新>小倉祇園太鼓400周年記念事業(市民太陽光還元事業)	2019年に小倉祇園太鼓は400周年を迎えるが、この機会を活かし、「小倉祇園太鼓400周年記念事業」を実施し、歴史と伝統を継承することの意義を見つめなおすとともに、市内外に広くPRする。			4,000	4,000
5		○		<新>小倉南区政45周年記念事業「魅力発信！小倉南区」(市民太陽光還元事業)	小倉南区制45周年を記念し、小倉南区の特色を活かしながら、区民の主体的な参加のもと、区の魅力を見つめ、気づき、発信することで、子どもたちの郷土への理解を深めながら広く区民のシビックプライドの醸成を図る。	多様化する市民ニーズに対応した施策の実現のため、関係局と連携し、地域の特色や実情に応じた事業を展開する。事業の実施にあたっては、市民太陽光発電売電収入等の特別財源を活用する。		1,000	1,000
6		○		<新>ドライブガイド「わかmap」製作事業(市民太陽光還元事業)	若戸大橋・若戸トンネルの無料化(2018年12月1日から)は若松区へ訪れる方を増加させる絶好の機会である。その受け皿づくりやおもてなしの1つとして、ドライブガイドを作成し、利用してもらうことにより、若松を満喫してもらうとともにリピーターの増加を目指す。			500	500
7		○		<新>黒崎まちなか公園・黒崎まちなかオンレンジカフェプロジェクト(市民太陽光還元事業)	乳幼児期の子どもの保護者、認知症や介護予防に関心のある高齢者やその家族をターゲットにしたイベントを、地域団体と連携して黒崎商店街の中で定期的実施していくことで、平日の日中における黒崎商店街の人通りを増やすとともに、黒崎商店街への親しみと愛着を醸成する。			1,000	1,000
8				区行政総合調整費	区行政全般に係る施策などを推進するため調査等を行う。		862	762	-100
9		○		黒崎城跡福岡県文化財指定記念事業(市民還元事業)	H29.3月に黒崎城跡が県文化財に指定されたことを記念し、黒崎城跡及びその地元である黒崎の歴史や文化、魅力等をあわせて市内外へ広く発信する。	—	4,500		-4,500

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10		○		曾根の神幸祭200周年記念事業(市民還元事業)	曾根の神幸祭(市指定無形民俗文化財)の200周年を記念して、この特色ある伝統芸能を地域内外にPRし、将来を担う子供たちへ引き継ぐために記念事業を実施する。	—	2,500		-2,500
11				出張所の機能強化	出張所に保健福祉相談員を配置し、区の保健福祉課と連携した保健・福祉サービスを提供する。	市民サービスの維持と経費節減を両立するため、より効果的・効率的な運営体制の検討を進める。	13,854	13,893	39
12				区役所・出張所改修事業	市民が利用する区役所・出張所庁舎の施設機能を維持していくため、施設改修を実施する。	老朽化が進む区役所・出張所庁舎の機能維持のため、優先順位を付け、計画的に庁舎の整備を行う。	23,100	36,800	13,700
13			区役所・出張所庁舎整備事業	区役所・出張所庁舎の維持補修を実施する。	20,000		18,000	-2,000	
14			区役所・出張所小規模保全事業	区役所・出張所庁舎の日常的な修繕等を実施する。	9,761		9,820	59	
15				コムシティ老朽設備大規模改修工事	コムシティの設備改修に係る経費。	八幡西区役所が入居するコムシティの施設維持のため、優先順位を付け、計画的に整備を行う。	19,800	58,600	38,800
16		○		<新>戸畑区役所西別館測量・調査業務	戸畑区役所西別館の測量等に要する経費	—		3,000	3,000
17				小倉北区役所庁舎電気・機械等設備管理業務	小倉北区役所庁舎の電気・機械等設備管理業務の委託に要する経費	—	54,692	54,988	296
18				区役所光熱費(臨時)	時差出勤試行実施経費の区役所負担分	—	2,000	1,600	-400
19		○		<新>区役所公用車リース化(小倉北区役所)	小倉北区役所で使用する公用車のリース経費。	—		7,800	7,800
20				区役所公用車リース化(門司区役所・戸畑区役所)	門司区役所及び戸畑区役所で使用する公用車のリース経費。	—	6,000	7,155	1,155
21				区役所公用車リース化(八幡西区役所)	八幡西区役所で使用する公用車のリース経費。	—	11,717	11,474	-243
22				区役所公用車リース化(小倉南区役所)	小倉南区役所で使用する公用車のリース経費。	—	7,108	7,174	66
23				区役所公用車リース化(若松区役所)	若松区役所で使用する公用車のリース経費。	—	4,516	4,516	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
24				庁舎一般管理(市文・総務区政課)(法律・条例)	区役所公用車の自動車重量税など、法定の経費。	—	135	0	-135
25				庁舎一般管理(市文・総務区政課)	区役所運営に係る経費。	—	79,854	45,457	-34,397
26				庁舎維持管理事務	区役所や出張所の維持管理に係る経費。	—	516,805	559,886	43,081
27		○		<新>庁舎維持管理事務(臨時)	区役所や出張所の臨時的な維持管理に係る経費。	—		7,600	7,600
28				八幡西区役所来庁者に係る市営駐車場使用料	八幡西区役所来庁者が利用する市営駐車場に係る経費。	—	18,397	16,456	-1,941
29				コムシティ管理経費	コムシティの維持管理に係る経費。	—	150,409	153,632	3,223
30				電話交換設備借入れ	良好な通信環境を整備するため、門司区、小倉南区、若松区、八幡東区、八幡西区及び戸畑区の電話交換機を平成29年9月に更改。		12,188	12,188	0
31				コールセンター整備事業(投資的経費)	コールセンター業務を行うための整備を行う。	市民サービスの向上と経費節減を両立するため、より効果的・効率的な運営体制の整備を行う。	53,795	25,300	-28,495
32			コールセンター整備事業(行政)	1,205			6,500	5,295	
33		○		<新>区役所電話内線網設備保守点検			区役所内線網の設備保守点検に係る経費。		2,420
34				各種団体補助事業(市文・総務区政課)	小倉検察審査協会への活動助成。	—	54	54	0
35				研究集会等参加(区役所・地域改善)	区役所職員の人権研修等各種研修参加に要する経費。	—	443	530	87
36				区交際費	地域行事の参加費等。	—	4,300	4,300	0
37				総務課事務管理費	市民文化スポーツ局総務区政課の管理運営に関する経費。	—	11,002	15,533	4,531

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
38				研究集会等参加費	局職員の人権研修等各種研修参加に要する経費。	—	120	146	26

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 戸籍住民課		重点項目	住民基本台帳、戸籍、住居表示等の区役所業務が確実かつ効率的に遂行できるように指導、改善、調整を行う。			
	課長名	土井 則己		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	453,573 千円
						H30(2018)年度当初予算額(B)	510,676 千円
						増減額(A-B)	-57,103 千円
		人件費	目安の金額	課長	1 人		
			69,000 千円	係長	2 人		
				職員	5 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				戸籍住民基本台帳事務	戸籍法、住民基本台帳法などにに基づき適正に事務を行う。	—	66,271	68,536	2,265
2				住民登録促進月間 (ハローin北九州)事業	市内の大学等に住民登録の促進に向けた呼びかけを行う。	大学だけでなく、市内企業においても住民異動の出張窓口を設置する。	482	534	52
3			○	市民課入力業務・窓口案内業務の委託化	市民課の異動届等入力業務と、市民課フロアでの記入支援及び総合案内業務を委託化する。	—	33,756		-33,756
4				市民課等「窓口受付呼出システム」更新事業	区役所市民課及び折尾・曾根出張所に設置している窓口受付呼出システムが老朽化したため更新を行うもの	—	9,000	9,708	708
5				市民課入力業務・窓口案内業務の委託化	現行契約が2018年6月に満了したため、契約更改を行うもの	市民課、総合案内において、迅速・丁寧な市民サービスを行うため、フロアマネージャー及び異動届等の入力業務を引き続き委託する。	95,200	128,539	33,339
6				証明書発行用ファクシミリリース	証明書発行事務用のファクシミリをリース契約により市民課・出張所等に設置する。	—	10,862	4,382	-6,480
7				通知カード・個人番号カード関連事務の委任	社会保障・税番号制度の導入に伴い、通知カード及び個人番号カードに関連する事務を省令に基づき地方公共団体情報システム機構に委任する。	—	113,875	113,263	-612
8				個人番号カード普及事業	個人番号カードの交付について、業務委託等を活用することによって、市民課業務を円滑に実施し、カードの普及に努める。	市民課において、円滑・丁寧な市民サービスの実現を図るため、個人番号カード交付に係るフロアマネジメント業務を引き続き委託する。	29,300	25,708	-3,592
9				証明書コンビニ交付サービス事業	住民にとって身近なコンビニエンスストアで住民票等を取得できる	—	7,906	7,979	73
10				証明書コンビニ交付サービス維持管理事業	コンビニ交付サービスの円滑な実施と維持管理に取り組む。	—	10,359	11,969	1,610

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				システム関連一般管理費	全国の住民基本台帳システムをネットワークで繋ぎ、全国共通の本人確認が出来る仕組みを構築し、高度情報社会に対応した住民のサービス向上や事務の効率化を図る。	—	47,766	47,811	45
12			住民基本台帳ネットワーク事業	—		2,981	3,009	28	
13			住基ネットCS端末等リース	—		767	774	7	
14			住民記録システム住基ネット連携機能運用保守事業	—		57,000	12,057	-44,943	
15			小倉駅南口再開発公益施設入居事業	小倉駅南口東地区市街地再開発事業により整備される再開発ビルの1階に、公益施設として小倉行政サービスコーナーが入居するため、整備を行うもの。	—	16,600	3,000	-13,600	
16			住居表示整備事業	住居表示未実施区域での住居表示及び実施済区域で街区等の形状が変わった場合の再整備を行う。	—	1,514	1,378	-136	
17			住居表示維持管理	街区表示板等の破損脱落等を調査して補修を行うとともに、現状に合わせた住居表示台帳の修正を行う。	—	7,037	6,458	-579	
18		○	<新>小倉駅南口再開発公益施設入居事業	小倉行政サービスコーナー全体の管理費(設備点検・清掃等)を各入居者の占有面積に応じて負担する。	—		468	468	
19		○	<新>個人番号カード取得促進事業	個人番号カードの普及促進のため、各区市民センター、市内大手企業等で申請補助を実施する。	2018年度に全区で実施した出張申請補助窓口を市内企業へも拡大する。		5,000	5,000	
20		○	<新>大字野面・大字木屋瀬地区住居表示整備事業	北九州市八幡西区大字木屋瀬及び大字野面地区について住居表示を実施する。	—		3,000	3,000	

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 区政事務センター		重点項目	法令に基づく住民基本台帳事務、戸籍事務等を適切に行うとともに、区役所窓口ワンストップサービスの円滑な運営に資するよう迅速な事務処理を行う。						
課長名	青木 仁美	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	5,189 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	5,189 千円		259,000 千円	係長	3	人
				増減額(A-B)	0 千円			職員	29	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				区政事務センター一般管理費	区政事務センターの管理運営に係る経費	—	5,189	5,189	0

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 地域振興課		重点項目	住民主体の地域づくり・まちづくりに向けて、地域団体の活動を支援するとともに、活動拠点となる市民センターの充実を図る。								
	課長名	鎌田 靖雄		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	2,909,489 千円	目安の金額	課長	2	人	
						H30(2018)年度当初予算額(B)	2,941,035 千円		105,500 千円	係長	3	人
						増減額(A-B)	-31,546 千円			職員	7	人
			人件費									

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			戦時資料展示コーナー管理運営事業	市民から寄贈された戦時下の資料を展示することで、多くの市民に戦争がもたらした惨禍と平和の尊さの理解を図る。	平和の尊さへの理解促進を目的として、多くの方に来館していただくため、チラシの配布拠点を増やすなど、広報に努める。	1,329	1,329	0
2	○			地域総括補助金	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、地域活動の参加者増加に向けた取組について、引き続き補助金を交付する。	250,058	239,916	-10,142
3	○			公民館類似施設等設置事業(地域総括補助金)	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、公民館類似施設の維持補修等を支援するため、引き続き補助金を交付する。	3,438	3,232	-206
4	○			防犯灯設置補助事業(地域総括補助金)	地域が一体となった地域づくりを促進するため、市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	住民主体の地域づくりの促進を目的として、地域団体に対し、防犯灯の設置を補助することで安全安心なまちづくりを実現するため、引き続き補助金を交付する。	79,000	74,260	-4,740
5	○			地域コミュニティ活性化推進事業	地域が一体となった地域づくりを促進するため、自治会をはじめとした地域の団体に対して地域コミュニティ活性化のための支援を行う。	地域活動の参加者増加に向けた取組を支援するため、まちづくり専門家派遣等を行うとともに、自治会加入促進に向けた取り組みを支援する。	2,770	28,614	25,844
6	○	○		<新>地域づくり促進事業	自治会の加入促進や地域活動の魅力を発信する取り組みを行うことで、自治会・町内会を含む地域コミュニティを活性化し、地域づくりを促進する。	本市では近年、地域活動を支える人が高齢化し、担い手不足が深刻化している。地域における課題の解決に向け、地域活動の担い手を発掘することを目的として本事業を行う。		4,000	4,000
7				市政連絡事務委託	自治組織と配布委託契約を締結し、市が発行する市民への周知文書を各世帯に配布する。	地域の負担軽減を目的に市からの依頼業務の見直し検討を行いながら、引き続き事務を委託する。	298,017	300,220	2,203
8	○			市民センター管理運営・整備事業	市民(サブ)センター136館の管理運営・整備を行い、市民センターを拠点とした地域づくりを推進する。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うとともに、施設・設備の老朽化等に対応し計画的に改修を進めるなど、機能の向上を図る。	1,858,093	1,896,078	37,985
9	○			市民センターAEDリース事業(債務負担)(2017年度～2022年度)	市民センターに設置しているAEDのリース契約に係る経費。(2017～2022年度)	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うために、利用客に安心して施設を利用してもらえるよう、AEDの設置を継続する。	2,812	2,838	26

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10	○			市民センター管理運営事業(債務負担)	市民センターの事務用パソコン及びプリンターのリース契約に係る経費。(2017~2022年度)	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うために、円滑に事務を行えるよう、パソコン及びプリンターの設置を継続する。	7,997	8,071	74
11	○			市民センター整備事業	地域活動の拠点施設としての機能の維持・向上を図るため、老朽化対策、バリアフリー化等を計画的に行う。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、市民センターについて、利用しやすい施設の管理運営を安定的に行うとともに、施設・設備の老朽化等に対応し計画的に改修を進めるなど、機能の向上を図る。	401,584	346,022	-55,562
12			○	自治会等コミュニティ活動促進事業	自治会・町内会の活動の活性化及び加入率の向上を目指し、地域振興補助金を交付し、活動のPRや研修等を行う。	2019年度より、No5「地域コミュニティ活性化推進事業」に統合。	26,889		-26,889
13			○	自治会加入促進事業	マンションにおける自治会設立、市外からの転入者が地域と繋がるきっかけ作り、「頼りになる自治会」になるための自治会改革の支援等、自治会加入促進を行う。	2019年度より、No5「地域コミュニティ活性化推進事業」に統合。	3,900		-3,900
14				つどいの家設置等補助事業	住民が相互の交流を深める場である集会所(つどいの家)の設置・改修に対し補助金を交付する。	地域コミュニティ施設の充実を目的として、地域活動の拠点としての活用を促すため、住民により身近な集会所の確保を支援する。	4,100	3,861	-239
15				地域振興課一般管理費	課の管理運営に係る経費。	—	1,048	1,048	0

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 市民活動推進課		重点項目	NPO・市民活動の促進及び協働の推進を図る。							
	課長名	藤田 和恵		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	52,815 千円	人件費	目安の金額	課長	0.5 人
						H30(2018)年度当初予算額(B)	52,453 千円		係長	1 人	
						増減額(A-B)	362 千円		職員	4 人	
				45,750 千円							

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			NPO・市民活動促進事業	NPO・市民活動に関する、相談・助言・情報提供など、活動の側面的な支援を行う。	市民活動の裾野を広げていくために、市民活動を担う団体の育成及び新たな人材の掘り起こし等が必要となるため、NPOの入門講座や講演会を引き続き実施するとともに、適正に運営するNPO法人を増やすための取組みを実施し、NPO団体の組織・運営の基盤強化を図る。	17,199	17,959	760
2			NPO団体基盤強化事業	NPOの活動を市民等が体験し交流できる場を提供する。	1,400		1,000	-400	
3	○		市民活動サポートセンター施設管理費(公共)	市民活動サポートセンターの管理運営に係る経費。	2,791		2,791	0	
4			市民活動保険	市民が安心して市民活動に参加できるよう市が保険料を負担し、一定の補償を行う保険制度を実施する。	4,000		6,000	2,000	
5			まちづくりステップアップ事業	市民が主体的に取り組む地域の特性を活かした活動に対して、補助金を交付する。	NPOへの資金的な支援を継続して実施し、市民活動の促進を図る。	6,021	5,321	-700	
6	○		NPO公益活動支援事業	NPO等が専門性を発揮して行う取り組みに対して、補助金を交付する。		1,989	3,212	1,223	
7	○		多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	予算については実施方法の見直しにより減額となるが、様々な団体間のネットワークづくりのため、NPO・企業・大学生の交流会及びマッチングを引き続き実施する。	2,627	1,323	-1,304	
8	○		「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	協働に関わる人材育成を目的とした研修を実施する。		2,227	1,491	-736	
9		○	市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	「環境未来都市計画」の推進に行政・企業・地域と協働して取り組む市民活動団体等に対して補助金を交付する。	—	4,206	—	-4,206	
10			旧古河鉱業若松ビル管理運営事業(指定管理)	旧古河鉱業若松ビルの指定管理経費。	—	8,304	8,171	-133	
11			旧古河鉱業若松ビル管理運営事業(公共)	旧古河鉱業若松ビルの修繕費。	—	395	395	0	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12				旧庄司小学校活用事業 (公共)	旧庄司小学校の維持管理費。	—	1,134	1,136	2
13				車両更新事業	公用車のリース経費。	—	160	161	1
14		○		<新>旧庄司小学校安全 対策事業	損壊したブロック塀の撤去とフェンスの新設、支障樹木の伐採、今 後の維持管理方針決定のための危険度調査の実施。	—		3,855	3,855

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 生涯学習課		重点項目	・学んだ人材を活動につなげる「循環型生涯学習社会」づくりの推進 ・多様な主体が協働して学習機会を提供する「ネットワーク型生涯学習社会」づくりの推進			
	課長名	佐藤 健治		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	152,766 千円
						H30(2018)年度当初予算額(B)	49,968 千円
						増減額(A-B)	102,798 千円
		人件費	目安の金額	課長 1 人	係長 2 人	職員 4 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				関係団体補助金	北九州市社会教育関係団体の会員が、その自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うとともに、社会教育関係団体が積極的に活動することを目的とし、別に定められた団体の事業(機関紙発行、研究会参加、研修会開催)の実施に係る費用の一部に補助金を交付するもの。交付対象事業は、婦人教育関係。	会員の高齢化により、会員数は年々減少している。人材の育成に努め、補助金については、会員数に応じた補助金の額を今後検討していく必要がある。	800	800	0
2				北九州市婦人団体協議会委託事業	地域や団体のリーダーとして女性が活動するにあたり、必要な知識を得るとともに社会参画の意識を高めることを目的とした、婦人団体の指導者研究会を年1回開催している。また、団体の情報発信を行い団体の相互理解を深めるとともに、ネットワークを広げることを目的として発行する広報紙の作成に必要な技法を習得するための広報研修会の運営を委託して実施する。	地域活動や団体活動に必要なリーダーが不足しており、また、婦人団体の活動に参画する人材も不足している。地域や団体が行う様々な活動に参画する人材及びリーダーとして活動を牽引する人材を継続して育成する必要があるため、指導者研究会や広報研修会を実施する。	700	700	0
3				各種委員会(社会教育委員)	社会教育の各分野の専門家を社会教育委員に委嘱・任命し、委員は教育委員会に対し、社会教育に関して助言を行う。このため、定時又は臨時に会議を開き、社会教育行政や生涯学習の推進について議論を行う。	前任期(2015.8.29～2017.8.28)より、会議の回数を増やすとともに、特定のテーマを設け、意見交換及びとりまとめを行った。引き続き、今任期(2017.8.29～2019.8.28)においても特定のテーマを設け、意見交換を行うとともに、次任期(2019.8.29～2021.8.28)においては、次期生涯学習推進計画を立案する。	911	796	-115
4				公民館類似施設設置費等補助金	公益法人や町内会等の地域が設置する公民館類似施設に対し、設置、改修(エアコン設置を含む)、及び運営の助成を行うため、補助金を交付する。	予算の範囲内での効果的・効率的な支援を継続していくとともに、各公民館類似施設への補助交付額の見直しを含めた、より効果的・効率的な支援策を引き続き検討する。	5,400	5,076	-324
5				公民館類似施設運営費等補助金			2,032	3,970	1,938
6				生涯学習管理運営費	社会教育関係研修参加費、生涯学習課、区コミュニティ支援課における生涯学習活動推進のための一般管理経費	—	6,542	5,286	-1,256
7	○			家庭・地域・学校パートナーシップ事業	家庭教育学級や子育てサポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。	子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化しているため、家庭教育学級の継続・充実とともに参加できない保護者への新たな取り組みとして「親力アップ情報発信」を実施し、いつでも誰でも家庭教育の役立つ情報が得られるよう、子育て支援につながる情報の発信を行う。	5,529	6,282	753

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
8	○			生涯学習活動促進事業	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	地域の状況に応じた柔軟な講座を実施するため、予算内の「大人向け」「子ども向け」の区分を統合した。 今後、地域の課題解決につながる講座となるよう市民センター館長研修の充実を図る。	17,125	13,627	-3,498
9	○			生涯学習推進コーディネーター配置事業	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的に、全市民センター及び生涯学習総合センターに生涯学習推進コーディネーターを配置する。	生涯学習推進コーディネーターの配置については、館長研修や各区の社会教育主事・主事補を通じて配置の意義・効果に加え人材の見つけ方などを周知し、全館配置に向け取り組む。	8,890	9,133	243
10				民間教育事業者(カルチャーセンター等)との生涯学習ネットワーク構築事業	ネットワーク構築のための協議会設置、開催	民間事業者等多様な機関・団体とのネットワークのあり方について手段等の課題がある。 今後も、より効率的な情報共有や情報の一元化を図るために協議を続けていく。	601	386	-215
11				公用車リース(区コミュニティ支援課)	八幡東区コミュニティ支援課生涯学習係が使用する公用軽自動車のリースに係る経費	—	196	198	2
12	○			地域課題解決のための人材活用支援事業	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活動までを体系的に支援し、地域力アップにつなげる仕組みをつくる。 (1)学んだ成果を地域に活かす講座の開催 (2)地域活動をリードする人材育成事業 (3)ボランティア(アドバイザー)グループによる支援事業	地域活動をリードする人材育成のため、市民センター館長等研修の内容を見直し、充実を図る。また、学んだ成果を地域に活かす事業は学習者と活動する者・団体とがつながる仕組みづくりを関係団体と協議する。	1,000	670	-330
13				地域づくりマネジメント研修事業	地域活動をリードする地域人材(市民センター職員、まちづくり協議会会長・役員、生涯学習推進コーディネーター等)に対し、求められる資質や能力を向上させる研修を行い、地域づくりをマネジメントする人材を育成する。地域において、地域課題を主体的に考える人材を増やすことで生涯学習活動の推進、地域活動の活性化に向けた、地域全体への意識付けを目指す。	地域が直面する課題に対して、市民が主体的に行動し、解決に結びつけることができる能力を向上させる研修を実施する。助け合いや地域活動につながる自主的・主体的な「学び」を提供していくもの。	242	242	0
14				八幡西生涯学習総合センター折尾分館移転事業	八幡西生涯学習総合センター折尾分館の移転先である八幡西勤労青少年ホームについて、利用者へのサービス低下を防ぐことを目的に、エレベーター設置工事および会議室の収容能力の向上のための改修工事(料理室、和室を会議室に転用)、老朽化した施設・設備等の補修工事を行うもの。	—	0	104,600	104,600
15	○			<新>「北九州市生涯学習推進計画」の次期計画の策定	現行計画の計画期間は、2016年度～2020年度の5年間となっている。次期計画策定にあたっては、2021年度から新たな計画期間を円滑に進めるため、2019年度から次期計画の検討会議を立ち上げ、現行計画の課題、地域にある様々な課題、国の動向等について議論を深め、次期計画に新たな視点や生涯学習事業の見直しを図る。	2019年度から次期計画の検討会議を立ち上げ、現行計画の課題、地域にある様々な課題、国の動向等について議論を深め、次期計画に新たな視点や生涯学習事業の見直しを図る。 また、検討会議の開催に先立ち、生涯学習活動の実態等を把握するため、アンケート調査を実施する。		1,000	1,000

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 生涯学習総合センター 管理運営課		重点項目 ・市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・調査研究・情報発信・学習相談等の機能をさらに集約・強化する。 また、市民の学習活動の場として一層の利用促進を図る。 ・安全・安心な生涯学習の場を提供する。							
	課長名	黒野 まゆみ		R1(2019)年度当初予算額(A)	241,206 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	238,626 千円		係長	2	人	
				増減額(A-B)	2,580 千円		職員	4	人	
コスト	事業費									

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			生涯学習総合センター事業	生涯学習情報の提供、人材育成、生涯学習支援、高度な学習ニーズに応える講座の実施などにより、生涯学習社会の実現を目指す。	厳しい予算状況の中、事業のクオリティを確保しながら、多様化する課題を的確に把握するとともに、地域課題の解決につながる人材育成を図る。	4,887	4,880	-7
2				生涯学習センター改修事業	生涯学習センターの老朽化対策及び施設の健全安全や利便性の向上を図るため、改善・保全を行う。	—	3,691	4,461	770
3				生涯学習センター管理運営費	生涯学習総合センター(婦人会館含む)及び生涯学習センター(8館)の管理運営にかかる経費	—	1,454	2,233	779
4				生涯学習センター維持管理費	生涯学習総合センター(婦人会館含む)及び生涯学習センター(8館)の維持管理にかかる経費	—	205,034	204,897	-137
5				コムシティ管理経費(八幡西生涯学習総合センター)	八幡西生涯学習総合センターのコムシティ管理経費の負担分	—	16,760	17,619	859
6		○		<新>若松生涯学習センター大規模改修工事	築30年以上経過し、建物全体の劣化が顕著である若松市民会館との複合施設である若松生涯学習センターの抜本的な対応として、全館での改修工事を実施する。	—		2,740	2,740
7		○		<新>八幡西生涯学習総合センター折尾分館設備維持経費(増加分)	折尾分館が入居するオリオンプラザは、2019年度民間入居者が退去を予定しており、残った入居者で設備維持経費を負担せざるをえない。これまで一般経費で要求していた額では不足する見込みとなったため、負担の増加に対応するための費用。	—		4,376	4,376
8			○	「学びの環」推進フォーラムの開催	学びの成果を活かし、地域や団体の活動、更なる学習に循環させていく「学びの環」の推進を図るフォーラムを、2016年11月の第1回に始まり、計3回開催した。	—	450		-450
9			○	若松生涯学習センター昇降機改修工事	若松市民会館との複合施設である若松生涯学習センターの昇降機は設置後30年以上経過し、機器の部品供給が平成30年9月で停止となるため、機器の更新を実施するもの。	—	2,750		-2,750
10			○	公共施設予約システム導入	「北九州市公共施設マネジメント実行計画」に基づき、より一層の効率的な利用を目指す方策のひとつとして、公共施設予約システムを導入する。	—	3,600		-3,600

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 八幡西生涯学習総合センター		重点項目	・市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・情報発信・学習相談等の機能を強化するとともに、市民の学習の場として一層の利用促進を図る。 ・また、北九州ひとみらいプレイスの事務局として人づくり支援の充実等をめざす。								
	課長名	藤田 和恵		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	15,355 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						H30(2018)年度当初予算額(B)	16,606 千円		係長	1	人	
						増減額(A-B)	-1,251 千円		職員	3	人	
				44,000 千円								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			八幡西生涯学習総合センター事業	市民カレッジ及びボランティア養成講座を実施する。	事業のクオリティを確保しながら多様化する課題を的確に把握するとともに、関連施設と協働し、地域課題の解決につながる人材育成を図る。	2,079	2,085	6
2				北九州ひとみらいプレイス管理運営費	北九州ひとみらいプレイス及び八幡西生涯学習総合センターの管理運営にかかる経費	厳しい予算状況の中、委託業務の内容を見直す等、より効率的な運営を行う。	9,793	8,541	-1,252
3				北九州ひとみらいプレイス事業	本市の人づくり支援機能の新たな事業展開とともに、副都心黒崎のにぎわい創出にも取り組む。	ひとみらい交流ウイーク実施場所変更の検討や広報の効率化等、予算をより効果的に配分し、引き続き人づくり支援の充実を目指す。	4,549	4,543	-6
4				公用車更新	八幡西生涯学習総合センター所管の公用軽自動車について、リース契約による使用料を支出する。	—	185	186	1

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 文化企画課		重点項目	・北九州市らしさや特長をさらに強化し、市民のシビックプライドを醸成する ・次代の担い手を育て、新たな文化芸術の創造につなげる ・文化芸術を生かした、ひとづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む ・本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する			
	課長名	横山 久		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	2,641,684 千円
						H30(2018)年度当初予算額(B)	2,769,127 千円
						増減額(A-B)	-127,443 千円
		人件費	目安の金額	課長	3 人		
					係長	11 人	
					職員	14 人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				文化振興管理運営費	文化企画課の管理運営に係る経費。	—	12,200	11,844	-356
2	○			北九州市東田地区ミュージアムパーク創造事業 (旧・文化関連施設多言語化推進事業)	いのちのたび博物館を中核として、周辺施設が連携し、地域の活性化やインバウンドの取り込みにつなげるため、面的・一体的に事業を実施するもの。また2020年に文化クラスターのシンボルイベントとして「東田Art for SDGs」を開催する。	2018年度予算では、「文化関連施設多言語化推進事業」の名称で予算を計上し、多言語化の対象施設を市内の文化施設全体としていたが、東田地区に特化した形での事業に変更した。	6,000	6,000	0
3		○		<新>次期文化振興計画策定事業	2010年12月に策定した「北九州市文化振興計画」について、2020年度をもって終了することから、新たな計画を策定するもの。	—		1,000	1,000
4				市民文化表彰	本市の文化芸術活動において活躍し、その功績が極めて大きい個人・団体を讃えるため創設した表彰制度に関する経費。	受賞者への副賞の内容について見直しを行った。	1,449	1,334	-115
5	○			北九州市文化振興基金	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金の運用益をもとに、市民の行う文化芸術活動等に対し助成を行う。	文化芸術に関する市民の自主的な活動をさらに活発化し、その内容がレベルアップするよう効果的な支援をおこなっていく。また、ここ数年は運用益が大幅に減り、基金残高が減少しているため、寄附金事業(北九州かるかるファンド)の宣伝、広告の方法及び返礼品等の見直し等を検討する。	10,559	11,681	1,122
6	○			北九州文学サロン管理運営事業	2017年3月に開設の「北九州文学サロン」の管理運営を行い、施設の利用促進を図る様々な取り組みを実施しながら、「文学の街・北九州」を発信する。	音楽や絵画など、様々な文化芸術と文学をつなぎ、魅力ある企画、取組みのを実施、情報発信が必要である。引き続き地元商店街や学生と連携し、様々な人が気軽に文学に接する取組みを進めていく。	11,000	11,000	0
7			○	児童文学の顕彰事業	本市ゆかりの児童文学を顕彰するため、2018年度に開設予定の子ども図書館の一角に、児童文学の顕彰コーナーを整備する。(行政経費)	—	1,000		-1,000
8			○	児童文学の顕彰事業	本市ゆかりの児童文学を顕彰するため、2018年度に開設予定の子ども図書館の一角に、児童文学の顕彰コーナーを整備する。(29投資的経費→30債務負担経費)	—	32,000		-32,000
9			○	児童文学の顕彰事業	本市ゆかりの児童文学を顕彰するため、2018年度に開設予定の子ども図書館の一角に、児童文学の顕彰コーナーを整備する。(投資的経費)	—	18,000		-18,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10	○			芸術文化育成負担金・補助金	本市の文化水準の向上、個性ある地域文化の振興のため、積極的に文化活動を展開している文化団体等への支援を行う。	本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を支援する。	36,350	35,350	-1,000
11				門司港美術工芸研究所支援事業	門司港美術工芸研究所の活動支援に関する経費。	企画内容や実施方法をより充実させ、経済性や効率性を意識した取り組みを今後も継続していく。	9,000	10,000	1,000
12	○			芸術文化活性化事業	【劇場・自主事業】 北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施する。 【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特性を活かした質の高いコンサートや、響ホールを拠点とした地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供していくために、効果的な事業実施に努めていく。	119,874	108,568	-11,306
13	○			北九州国際音楽祭	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、2019年度で32回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	国際音楽祭はレベルの高い音楽イベントとして定着しており、企画内容等を充実させ、より質の高い音楽を提供し、集客の向上を目指す。	40,000	40,000	0
14	○			現代美術センター・CCA北九州支援事業	現代美術の世界的な拠点の一つとなることを目指して活動している研究・学習機関であり、若手アーティストの指導育成、招聘アーティストによる新作発表会のための展覧会等を開催するとともに、その活動を広く市民に浸透させるための文化講座などの事業を行っている。これらの事業を実施しているCCA北九州を支援するもの。	フェローシップ・プログラムについては、一定レベルの受講生の確保を図りつつ、充実したプログラムを実施する。 また、事業については、内容の見直しや経費削減等を更に進めつつ、地域への還元や市民対象の公開講座の実施を通じて、市民へのCCA北九州のより一層の浸透に努める。	40,000	39,000	-1,000
15				芸術文化振興財団委託事業	市民の多様な芸術文化ニーズに対応した事業を実施し、芸術文化の振興に寄与するために、北九州市芸術劇場指定管理や響ホール指定管理による事業を行う。	—	83,000	81,118	-1,882
16				芸術文化活性化事業(事業安定化対策)	興業が中止となった場合などに生じる主催者負担を担保するため、留保付で予算を確保するもの。財団全体として資金ショートの際に執行する。	市の外郭団体を有効に活用し、計画的に事業を進める。実施にあたっては、経済性や効率性も考慮に入れた運営を行う。	50,000	50,000	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
17		○		「合唱の街づくり」推進事業	子供たちや若者を中心としたより多くの市民が合唱に親しみ、市民の歌声が響く「合唱の街づくり」を進めるため、市内外へ「合唱の街」をPRするとともに、合唱体験のワークショップ等を行う。		7,000	5,144	-1,856
18		○		優れた文化・芸術との“出会い”創造事業	・通常の演奏会や公演の鑑賞ではなく、様々な形で子供たちが身近に文化芸術を体験することでその面白さを楽しめるようにする芸術体験プログラム(ワークショップ等)等を行い、文化芸術を楽しむことができる内容とすることで新たな担い手の育成に供する。 ・子どもたちや若者が文化・芸術に接する機会を拡大するため、学校・地域等における教育普及活動(=アウトリーチ)やホール等の文化施設における文化・芸術活動等を充実させる。	様々な芸術に触れる・体験する機会を提供する事業を実施し、次世代の文化・芸術の担い手を育成し、活動の活性化を図る。	10,000	6,840	-3,160
19		○	<新>青少年のためのレクチャーコンサート開催事業	青少年に対して質の高い音楽を提供することを目的に、(公財)日本音楽財団の企画する音楽鑑賞教室を開催する。				1,000	1,000
20		○	<新>公立ジュニアオーケストラフェスティバル	北九州市ジュニアオーケストラを、全国7つの公立ジュニアオーケストラによる交流演奏会に派遣することで、ジュニアオーケストラ相互の交流を深めるとともに、本市の音楽文化の向上を図る。				3,000	3,000
21		○	<新>日露交歓コンサート	優れた文化芸術に触れる機会を提供することで子どもたちの音楽に関する知識や理解を深めるとともに、文化交流を通じて日露間の相互理解の促進を図る。				5,000	5,000
22			○	発進力の高い文化事業の支援(北九州シティオペラ)	本市の文化水準の向上、個性ある地域文化の振興のため、積極的に文化活動を展開している文化団体等への支援を行う。		—	5,000	
23				松永文庫管理・運営経費	2009年、松永武氏から市に寄贈された「松永文庫」を主体とし、現在では約45,000点に及ぶ映画・芸能資料の資料館である「松永文庫」を、市民や観光客も気軽に親しめる映画文化の振興の拠点として、また、「映画の街・北九州」という新しい都市ブランドの発信拠点として引き続き管理・運営する。	「映画の街・北九州」という都市ブランドのさらなる強化に向けた取組みを強力に推進する。日本批評家大賞等の受賞により、認知度・寄贈件数が上昇しているため、映画やテレビドラマを通じて、本市の魅力を国内外に発信するシンボル施設としての能力向上を進める。	1,473	1,335	-138
24			松永文庫管理・運営経費(公共)	松永文庫の維持管理に係る経費。			5,308	5,308	0
25		○		松永文庫企画事業	2016年5月の日本映画批評家大賞特別賞の受賞により、全国的に注目が集まっていることから、企画展示と併せてクイイベント等を開催するとともに、増加している資料寄贈への対応及び運営体制の充実(備品の増設等)を図る。			9,600	9,600

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)	
26				北九州メディア芸術創造 拠点推進事業	本市に蓄積されたメディア芸術(漫画やアニメ、映画やポップカルチャー等)の芸術資源の魅力をさらに高めて本市のイメージアップを図るとともに、芸・産・学・官連携のもと、メディア芸術人材の育成及びメディア芸術産業の創出を目指し、国際発信力のあるメディア芸術拠点としてのブランディングを確立する。 また、2020東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた国際発信を強化し、インバウンドの増加、活力ある豊かな地域社会を実現する。	これまで培ってきたメディア芸術資源(マンガを中心としたポップカルチャー等)を活用したまちづくりに取り組み、アジアMANGAサミットの誘致に成功した。2020オリパラおよび東アジア文化都市2020で世界的に注目を集める機会を活かして、国際的な文化芸術の拠点化を達成すべくアジアMANGAサミットの実施及び国際的イベント開催準備等を強力に推進する。	43,000	68,800	25,800	
27			○	映画・テレビドラマロケ地 誘致支援助成金事業	北九州市内で撮影を行う映画・テレビドラマの製作者に対して、1件あたり3,000千円(海外作品は5,000千円)を上限として市内の宿泊費等相当額を助成する。	—	6,200		-6,200	
28				海外作品等誘致・支援事業	2015年度より本格的に開始した海外作品の誘致について、主要対象国であるタイや、本市の航空会社であるスターフライヤーが定期便を設定した台湾等について海外の映画・テレビドラマ作品の撮影誘致及び若者を受入れた文化研修を行うことにより、本市の魅力を海外に発信し、インバウンドを増加させる。		8,000	14,200	6,200	
29	○			映像製作誘致強化事業	本市の都市イメージの向上と交流人口の拡大による地域経済活性化のため、国内外の映画・テレビドラマ・CMなどのロケーション撮影の誘致・支援を行う。		10,188	9,373	-815	
30	○			関門連携による国内外映画・ テレビドラマ誘致支援 事業	関門海峡を中心とした、ロケ地としての北九州市・下関市の魅力及び北九州市のアジア映画・ドラマ業界における人的ネットワーク等を活用し、国内外の映画・テレビドラマを誘致することで、関門地区の魅力を国内外に情報発信する。 また、海外現地にて誘致作品の出演者を活用したプレミアイベントを開催するなどして、ロケツーリズムによるインバウンドの増加を狙う。	映画やテレビドラマを通じて、本市の魅力を国内外に発信するため、引き続き、フィルム・コミッション活動を推進する。 特に、アジアを中心としたインバウンドの獲得を見据え、海外作品の誘致に力を入れるなど、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドのさらなる確立に向けた取組みを強力に推進する。		20,000	18,000	-2,000
31	○			みんなで創る「映画の街・ 北九州」ブランド発信事業	本市の都市ブランド「映画の街・北九州」のさらなる構築、発信のため、活動を支えてきたエキストラの登録数が1万人を越える事を記念し、市内の関係者等が相互に交流を深め、一体となって取組むイベントを開催する。これに加え、北九州フィルム・コミッション支援作品のプロモーションを活用し、「映画の街」にふさわしいロケの足跡を残し、ロケツーリズムにつなげる。		5,000	5,000	0	
32				公用車リース経費(文化 企画業務)	フィルム・コミッション業務にて使用する公用車のリース料を支出。	—	174	176	2	
33			○	<新>平尾台保存管理 事業	平尾台保存管理計画に基づき、指定地域内の民有地を学術的に価値の高い地域から順次購入している。 本事業は裁量事業の拡充である。	2019年度については地権者等からの要望も踏まえ、新たに制度化された地方債を活用して事業費を増額し、公有地化を推進する。		50,000	50,000	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
34				平尾台土地買上げ	平尾台保存管理計画に基づき、指定地域内の民有地を学術的に価値の高い地域から順次購入している。 なお、購入する地域については国・県と協議の上決定する。	2019年度については地権者等からの要望も踏まえ、臨時事業分と合わせて事業の拡充を実施し、新たに制度化された地方債を活用して事業費を増額し、公有地化を推進する。	23,529	22,117	-1,412
35				「関門海峡」日本遺産連携事業	2017年4月に日本遺産に認定された「関門”ノスタルジック”海峡」のPR等各種取り組みを、北九州・下関両市及び民間委員による協議会で実施する。	文化庁や関係各位との協議及び相互調整を行うほか、日本遺産の魅力発信及び関門地域への誘客を進める。	4,000	3,320	-680
36		○		<新>小倉祇園太鼓40周年記念・文化財普及啓発事業	小倉祇園太鼓が400周年を迎えるにあたり、文学館において歴史展(展示会)を開催するもの。	—		5,000	5,000
37		○		<新>寿命の唐戸(水門)保存修理事業	北九州市指定有形文化財(建造物)である寿命の唐戸(水門)について、老朽化等が判明したため、その保存活用のための保存作業等を実施するもの。	北九州市指定有形文化財(建造物)である寿命の唐戸(水門)について、区政要望などの地元要望を踏まえ、活用策を検討していたところ、文化財自体の老朽化等が判明したため、その保存活用を図る。		5,600	5,600
38		○		<新>埋蔵文化財センター移転事業	現在小倉北区金田に所在する市立埋蔵文化財センター及びその他の収蔵庫を集約し移転するための関連事業。	基本計画に基づき基本設計を行うことで、事業の円滑な実施に努める。		16,500	16,500
39			○	小倉祇園太鼓調査事業	小倉祇園太鼓が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたことに伴い、文化財としての価値を明らかにすべく調査を行う。	—	10,000		-10,000
40				埋蔵文化財発掘調査受託	開発者から受託した発掘調査を(公財)北九州市芸術文化振興財団(埋蔵文化調査室)に委託している。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	73,756	51,121	-22,635
41	○			文化財保存補助	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承する。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	1,072	1,082	10
42				芸術文化振興財団委託料(埋文調査室管理)	埋蔵文化財調査室の管理にかかる経費。	発掘作業にかかる業務管理の委託料であるが、算定基礎となる人件費が上昇したため、委託料が増加している。	8,675	9,575	900
43				文化財管理保全	地域の歴史や文化を後世に残すとともに、郷土愛を育むため、文化財公開施設の一般公開など、長い歴史の中で生まれ今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財の保存・活用を行う。	優先順位をつけながら、文化財の保存・活用に努める。	2,846	2,564	-282
44				文化財関連施設維持管理費(公共)	埋蔵文化財センター及び埋蔵文化財収蔵庫等の維持管理に係る経費。	—	33,592	33,592	0
45				埋文発掘調査(国庫補助)	学術調査、個人住宅建設に伴う発掘調査、または開発行為に先立つ遺跡の範囲の確認調査を国庫補助事業により実施する。	市民からの要請に応え、適正な文化財の保存・活用に努める。	23,663	25,866	2,203

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
46				埋文発掘調査(市費)	学芸員の資質向上のための講習会受講、発掘・整理器材等の経費等。	—	1,832	1,674	-158
47				文化財保存修理補助事業	指定文化財が老朽化し、保存・活用に支障をきたすため、所有者が主体となり補修を行うもの。	引き続き、国や県、文化財所有者と協議を重ね、適正な文化財の保存を行っていく。 31年度の減額については、門司港駅の改修が終了するためである。	131,000	62,200	-68,800
48				城野遺跡史跡広場整備事業	弥生時代後期から終末期にかけての拠点集落遺跡である城野遺跡を史跡広場として整備するもの。	—	30,000	30,000	0
49			○	埋蔵文化財センター外壁保全事業	埋蔵文化財センターについて老朽化等の理由により外壁の改修を行うもの。	—	5,000		-5,000
50				新埋蔵文化財センター基本計画策定業	移転することとなった埋蔵文化財センターの基本計画を策定するもの。	2018年度は補正予算で対応したため、当初予算は計上していない。	0	8,000	8,000
51				大手町練習場運営経費	大手町練習場の維持管理に関する経費。	—	36,278	36,481	203
52				市民会館運営経費	市民会館(門司、若松)の維持管理に関する経費。	—	129,661	127,570	-2,091
53				戸畑市民会館管理運営費	戸畑市民会館の維持管理に関する経費。	—	116,772	114,058	-2,714
54				北九州芸術劇場運営費	北九州芸術劇場の維持管理に関する経費。	—	884,149	883,912	-237
55				響ホール運営費	響ホールの維持管理に関する経費。	—	126,000	127,479	1,479
56				旧百三十銀行ギャラリー運営経費	旧百三十銀行ギャラリーの維持管理に関する経費。	—	6,136	6,292	156
57				黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業(ホール)	2012年度にオープンした「黒崎ひびしんホール」の施設整備に係る対価分。	—	118,808	118,895	87
					「黒崎ひびしんホール」の施設維持管理・運営業務および芸術文化事業に関する経費。	—	180,115	181,690	1,575
58				北九州芸術劇場修繕工事実施事業	「北九州芸術劇場」のスムーズな施設運営を図るため、舞台設備等の予防保全的な修繕・改修を計画的に行う経費。	開設から15年が経過し、劣化した施設の修繕・改修を計画的に行うもの。	152,800	27,000	-125,800

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
59				八幡市民会館閉館関連 事業	2016年3月で閉館した八幡市民会館の機械警備等に係る経費。	—	261	261	0
60				国際村交流センター改修 等工事	国際村交流センターの改修工事。	開設から25年が経過し、劣化した施設の修繕・改修を計画的に行うもの。	9,093	8,301	-792
61				芸術文化施設改修工事	芸術文化施設の改修工事。	経年劣化に伴う老朽化の著しい箇所や機能劣化したものについて、改修工事等を計画的かつ早急に実施する。	15,100	13,703	-1,397
62				芸術文化施設管理費	芸術文化施設の維持管理に関する経費。	—	2,110	1,894	-216
63				芸術文化施設管理費(公 共)	芸術文化施設の維持管理に関する経費。	—	2,684	2,684	0
64		○		<新>リバーウォーク北 九州管理組合負担金	リバーウォーク北九州管理組合の負担金。	—		56,942	56,942
65				リバーウォーク北九州管 理組合負担金	リバーウォーク北九州管理組合の負担金。		31,570	11,870	-19,700
66		○		<新>若松市民会館大 規模改修工事(実施設 計)	築30年以上経過し、建物全体の劣化が顕著である若松市民会館について、全館での改修工事を実施するもの。	大規模改修工事に向けて、実施設計を行う。		8,470	8,470
67		○		<新>アルモニーサンク 等改修工事	アルモニーサンク北九州ソレイユホールの改修工事を行うもの。	施設開設から34年が経過して劣化した設備の修繕・改修を計画的に行うもの。		26,300	26,300
68			○	若松市民会館昇降機改 修工事	設置後30年以上経過し、機器の部品供給が2018年9月で停止となるため、機器の更新を実施する。	—	7,250		-7,250

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 長崎街道木屋瀬宿記念館		重点項目	地域の伝統文化や文化振興の核になる施設として、機能の充実とともに集客を図る。								
	課長名	宇佐美 健次		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	36,314 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						H30(2018)年度当初予算額(B)	25,586 千円		係長	0	人	
						増減額(A-B)	10,728 千円		職員	1	人	
				19,000 千円								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				長崎街道木屋瀬宿記念館管理運営費	郷土の歴史・文化を学ぶことができる「みちの郷土史料館」と芝居小屋をモチーフとした多目的ホール「こやのせ座」がある。地元の団体が組織される「長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会」と行政が協働で管理・運営を行っている。	年間イベントの企画の見直しや広報活動の効率化を実施することで、課題である利用者数の増加を図る。	15,562	14,590	-972
2			長崎街道木屋瀬宿記念館管理運営費(公共)	10,024			10,024	0	
3		○		<新>長崎街道木屋瀬宿記念館設備改修事業	今後も支障なく施設運営が図れるよう施設整備の改修工事を実施する。	開館から17年経過しており、空調設備や映像機器等に故障や不具合が発生している。今後も文化振興の核となる施設として機能していく上で必要な事業である。		11,700	11,700

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 東アジア文化都市推進室		重点項目	・北九州市らしさや特長をさらに強化し、市民のシビックプライドを醸成する ・文化芸術を生かした、ひとつづくり、まちづくり、にぎわいづくりに取り組む ・本市の文化芸術の魅力を国内外に、積極的に発信する								
	課長名	小笠原 圭子		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	190,481 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						H30(2018)年度当初予算額(B)	24,953 千円		係長	3	人	
						増減額(A-B)	165,528 千円		職員	1	人	
				49,000 千円								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				東アジア文化都市2020北九州推進事業	「東アジア文化都市2020北九州」の開催に向け、実行委員会を組織し、その後、2020年3月(予定)の開会式開催を皮切りに、1年を通じて様々な文化芸術事業や交流事業を実施する。	「東アジア文化都市2020北九州」の開催に向けて、事業周知のための広報を強化するとともに、企画やプログラム策定を行い、事業実施に向けて取り組む。 2018年度は補正予算で対応したため、当初予算は計上していない。	0	168,400	168,400
2	○			創造都市推進事業	文化芸術の力を活用した「創造都市・北九州」の実現に向け、東アジア文化都市2020北九州と連携しながら、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの推進等に取り組む。	文化プログラムの推進に向け、制度及び申請方法等についてHPを活用し、周知を図った。	5,300	4,000	-1,300
3				文化情報提供事業	文化芸術情報を発信するため、冊子(フリーペーパー)「かるかる」を発行する。	メディアサイト(HP)での情報発信を強化し、冊子の発行部数の見直しを行った。	19,653	18,081	-1,572

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 スポーツ振興課		重点項目	スポーツを「する」、「みる」、「創る・支える」市民の増加を目指し、市民参加型スポーツイベント等の実施、オリンピック・パラリンピック等で活躍できるトップアスリートの育成や競技スポーツの支援などに積極的に取り組む。			
	課長名	城戸 健一		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	5,047,082 千円
						H30(2018)年度当初予算額(B)	2,409,399 千円
						増減額(A-B)	2,637,683 千円
		人件費	目安の金額	課長	3 人		
			212,000 千円	係長	8 人		
				職員	13 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			北九州マラソン開催事業	スポーツの振興やまちのにぎわいづくりなどを図るとともに、本市の魅力を全国に発信するため、「北九州マラソン」を開催する。	ランナー(する人)にとってより安全・快適な大会となるように努めるとともに、「見る人」「支える人」を拡げる取り組みを行う。	89,663	92,157	2,494
2	○			ホームタウン推進事業	本市をホームタウン・準ホームタウンとする「ギラヴァンツ北九州」、「堺プレイザーズ」、「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業等を行い、市民がスポーツに親しむきっかけづくりを行う。	市民観戦事業や、体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図るとともに、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組む。	63,450	63,450	0
3	○			ギラヴァンツ北九州支援事業	本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助する。	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指す。	50,000	40,000	-10,000
4	○			生涯スポーツ振興事業	生涯スポーツの普及・振興のため、各区においてスポーツ教室、ニュースポーツ体験会などを開催する。	各区におけるスポーツ教室、体験会などのPR、開催方法の工夫を行い、さらなる参加者の増加を図る。	19,612	19,612	0
5	○			夢・スポーツ振興事業	国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、ジュニア世代がトップアスリート等から直接指導を受ける講習会等を実施する。	より多くの競技において国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、ソフトボールを新たに加え、対象種目を全11種目に拡充する。	8,000	9,000	1,000
6	○			市民体育祭	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図り、健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催する。	大会数や参加者が増加する中で、一部重複している種目・大会の見直し等により効率的な大会運営を図る。	7,400	6,354	-1,046
7	○			国際大会・全国大会等スポーツ開催	市内での国際大会等の開催により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。	引き続き、市民の見るスポーツの機会創出のため、魅力ある大会の誘致に努めるとともに、歴史ある門司港レトロマラソンを継続的に実施していく。	3,650	3,000	-650
8	○			総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	地域住民の自主的な運営により、身近な地域で様々なスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	市内の9つの総合型地域スポーツクラブで構成する北九州市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営を見直すとともに、各クラブの自主的な活動と運営を支援する。	3,459	3,182	-277
9				選抜女子駅伝北九州大会	女子中・長距離の育成、強化を図るとともに、競技をとおして市民の連携意識の高揚とスポーツへの参加意識の喚起を図る。	競技環境の変化に伴い、実業団チームの参加が減少しており、関係機関とこれまでの大会を検証して見直しを行っている。今後は、コース短縮、出場枠拡大、放送形態の見直し等により実業団チームの参加数の増を目指すとともに大会経費の削減に取り組む。	17,000	16,000	-1,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
10		○		<新>ミクスコンサート 開催支援事業	ミニワールドスタジアム北九州の多様な形での利用を促進し、ま ちのにぎわいを創出するため、スタジアムで初めてとなるコンサ ートの開催を支援する。	—		10,000	10,000
11				「わくわく体験」スポー ツ教室	冬季のスポーツ振興の一環として、全小学生を対象とした希望参 加型のアイススケート教室の開催等を行い、青少年の健全育成と 生涯スポーツの振興に寄与するもの。	アイススケート教室へのより多くの参加を促すため、効果的なPR方法を検討するとともに、 事業の効率化を図る。	12,900	12,900	0
12				スポーツ大会選手派遣 事業	国際大会や全国大会等のスポーツ大会へ出場する選手を支援す ることで、本市のスポーツ振興や、アスリートの育成を図る。	より多くの選手を支援できるよう申請要件を一部見直し、本市を代表して国際・全国大会等 へ出場する選手への支援を継続する。	9,162	10,242	1,080
13				スポーツ強化事業	福岡県民体育大会の派遣及び競技力を向上するために実施す る。	持続可能な支援制度とするため、選手派遣のための選考会費及び強化費について、他の 自治体の状況を踏まえ、見直しを行う。	4,907	2,307	-2,600
14				市民スポーツ賞事業	国際的・全国的なスポーツ競技大会において、優秀な成績を挙げ た個人並びに団体で、市民の範となる方を表彰する。	—	1,134	941	-193
15				スポレク振興委託事業	レクリエーション活動のリーダー養成やスポーツ教室を実施す ることで、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。	レクリエーション活動のリーダー養成やスポーツ教室を実施することで、引き続きスポーツ・ レクリエーションの振興を図る。	910	910	0
16		○		卓球ジャパンオープン萩 村杯北九州大会開催事 業	卓球ジャパンオープン萩村杯北九州大会開催にかかる経費の一 部を補助するもの。なお、2020年の東京オリンピック・パラリンピ ック競技大会の開催に向けて、市内外に効果的にPRし、大会に訪 れる集客増、まちの賑わいづくり、本市のスポーツ振興とイメージ アップを図るものとする。	—	6,000		-6,000
17		○		レディースサッカー大会 開催事業	本市におけるサッカー競技者の底辺のレベルアップを図るとと もに、青少年の健全育成並びに本市のスポーツ振興を目的に、レ ディースサッカー大会を行う。	—	700		-700
18				桃園市民プール(室内) 整備事業	老朽化が著しく更新時期を迎えた市内唯一の室内公認50mプ ールである本施設について、市民の健康づくり、競技大会の開催、 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘 致等に向けて、新築工事を行う。	—	511,000	3,005,648	2,494,648
19		○		<新>桃園市民プール (室内)整備事業(備品整 備)	老朽化が著しく更新時期を迎えた市内唯一の室内公認50mプ ールである本施設について、市民の健康づくり、競技大会の開催、 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘 致等に向けて、備品整備を行う。	—		91,500	91,500
20				スポーツ施設耐震補強 長寿命化事業	北九州市耐震促進計画や市有建築物耐震診断推進連絡会、文 部科学省からの通知に基づき、耐震対策を実施する。	—	0	100,800	100,800
21				スポーツ施設維持改修 事業	対症的な対策が必要である施設のうち、現に施設の利用や 運営に支障をきたし、安全性の確保を図ることができないもの について、必要な維持改修を行う。	多数あるスポーツ施設を安全に利用できるように、緊急性や経済性などを勘案し、より効率 的に老朽化対策や必要な改修工事を行う。	0	31,000	31,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
22				スポーツ施設更新事業	老朽化している施設の再整備や設備の更新、修繕を行う。	—	32,693	30,542	-2,151
23		○		スポーツ施設大型備品整備事業	故障のため、大会が開催できない等の利用が制限され、施設運営に支障をきたしている備品について整備する。	—	6,900		-6,900
24				スポーツ施設ユニバーサルデザイン化推進事業	高齢者や障害のある人、老若男女を問わず誰もが気軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設のユニバーサルデザイン化を促進する。	—	6,926	6,700	-226
25				スポーツ施設予約システム推進	インターネットを活用し、スポーツ施設紹介、施設空き情報の提供、施設の予約等を行う。	—	2,624	2,414	-210
26		○		本城陸上競技場サブトラック整備事業	本城陸上競技場は、公認陸上競技場として、さまざまな競技大会が開催されている本市を代表する陸上競技場であるが、既存のサブトラックは老朽化が著しく、更新時期を迎えていることから、サブトラックの整備を行うもの。	—	60,000		-60,000
27				スポーツ施設維持管理事業	住民サービスの向上や経費の節減を図ることを目的とし、民間事業者を含めた幅広い団体に公の施設の管理を委託するもの。	スポーツ施設の管理・運営について、引き続き、住民サービスの利便性向上を図るとともに、経費の削減についても取り組んでいく。	1,292,819	1,289,174	-3,645
28	○		北九州スタジアム維持管理事業	北九州スタジアムの適切な維持管理・運営を行うことで、「みる」スポーツの機会の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいづくりに取り組む。	102,355		103,303	948	
29			北九州スタジアム用地運用事業	日本製鉄㈱の所有している土地を借り上げ、北九州スタジアムを設置した。契約上、日本製鉄㈱あてに、毎年固定資産税評価額の3%の借地料を支払うこととなっている。	52,000		52,000	0	
30			スポーツ施設整備	スポーツ施設にある備品の修繕や必要物品の購入等を行う。	11,260		11,260	0	
31			スポーツ施設AED更新事業	所管のスポーツ施設のうち、31施設のAED及び13施設の付属品の更新を行うもの。	2,000		1,400	-600	
32			旧響南中学校スポーツ開放事業	旧響南中学校の格技場及び響南運動場を、施設の有効活用を目的とし、学校施設開放に準じる施設として一般開放する。	1,366		1,366	0	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
33				北九州市スポーツによる にぎわいづくり基金積立 金	2015年度より募集を開始した北九州スタジアム寄附金(2016年末 で寄附終了)、北九州マラソンスポーツ募金について、市民スポ ーツの普及及び振興を図り、まちのにぎわいを創出するため、基金 へ積み立てるもの。	—	14,003	14,004	1
34				スポーツ推進委員	地域におけるスポーツ・レクリエーションに関する行事の企画・立 案、運営及び実施や生涯スポーツの振興やニュースポーツの普 及などを行うスポーツ推進委員の活動を促進する。	地域における生涯スポーツ、ニュースポーツの普及発展のため、リーダー的な役割を担う スポーツ推進委員の活動を引き続き支援する。	8,011	7,900	-111
35				管理運営費(スポーツ)	課の一般事務費。	—	6,045	6,231	186
36				各種委員会 (スポーツ推進審議会)	スポーツ推進審議会の開催経費。	—	531	858	327
37				公用車リース経費(ス ポーツ振興業務)	スポーツ振興課所管公用車2台と小倉南区役所コミュニティ支援 課公用車1台のリース経費。	—	583	588	5
38				公用車リース経費(ス ポーツ振興課)	八幡東区コミュニティ支援課公用車1台と戸畑区役所コミュニティ 支援課公用車1台のリース経費。	—	336	339	3

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 国際スポーツ大会推進室		重点項目	ラグビーワールドカップ2019日本大会において、ウェールズ代表による本市での公認・事前キャンプの成功に向けた機運醸成策や交流事業を積極的に推進する。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地や国際スポーツ大会等の誘致に向け、戦略的なプロモーション事業を展開する。								
	課長名	藤本 将志		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	171,700 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
						H30(2018)年度当初予算額(B)	62,000 千円		係長	3	人	
						増減額(A-B)	109,700 千円		職員	3	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			大規模国際スポーツ大会等誘致事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致や国際スポーツ大会等の誘致について、スポーツによるまちの活性化を図るため、各種事業を展開する。	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会について、対象国に対する誘致活動を引き続き行うとともに、本市のホストタウン相手国でもあり、卓球及びテコンドー代表チームによる本市での事前キャンプが決定しているタイ王国を中心に交流事業を推進していく。これに加え、国際スポーツ大会等の誘致・開催についても、引き続き積極的に推進し、市民に対してトップアスリートを「みる」機会を創出していくことでまちの活性化を図る。	32,000	30,000	-2,000
2	○	○		<新>なでしこジャパン国際親善試合開催事業	本市では初となる女子サッカー日本代表(なでしこジャパン)の国際親善試合について本市で受入れを行う。	男女を通じて本市初のサッカー日本代表の国際試合を開催することで、市民に対してトップアスリートを「みる」機会を創出し、まちの知名度向上やイメージアップ、シビックプライドの醸成やまちのにぎわいづくりに繋げる。また、国際大会開催の更なる実績作りを行うことにより、プレゼンス向上等を図り、今後の国際スポーツ大会等の誘致活動を有利に進める。		15,000	15,000
3	○	○		<新>東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等実施事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを契機としてスポーツ振興を図り、スポーツを通じた国際交流やオリンピック・ムーブメントの推進等に積極的に取り組んでいく。	英国ウィルチェアラグビーのキャンプの成功に向けて、環境整備及び施設の既存利用者との利用調整などを行うとともに、市民との国際交流や競技を「みる」機会等の創出を図る。また、コロンビア(競泳、体操等)及びオセアニア連合(水泳)について、本市でのキャンプ実施に関する覚書締結に向けた協議・調整を重点的に行う。		50,000	50,000
4	○			大規模スポーツ大会開催のためのスポーツ備品整備事業	キャンプ地誘致活動等が本格化する中、他の自治体よりも誘致活動を優位に進めるためスポーツ施設に国際規格の備品を整備する。	本市が持つポテンシャルの向上を図り、他都市よりも誘致活動を優位に進め、今後の継続的なキャンプ実施や国際スポーツ大会等の開催へと繋げ、まちのにぎわいづくりやトップアスリートを「みる」機会の創出、市民のスポーツへの意欲や競技力向上等を図る。	6,000	2,700	-3,300

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
5	○			ワールドラグビー女子セブンズ開催事業	2017年4月に北九州スタジアムにおいて日本初開催となった「HSBCワールドラグビー女子セブンズシリーズ日本大会」について、2017、2018年度に続き3年連続で本市で受入れを行う。	同大会は2019年度で3年連続本市開催となることから、本市での7人制ラグビー(セブンズ)の認知度も昨年度、一昨年度でかなり高まってきている。2019年度についても、国際スポーツ大会開催の更なる実績作りによるプレゼンス向上等を図り、本市の知名度アップ、今後の国際スポーツ大会等の誘致活動を有利に進める。	13,000	13,000	0
6	○			ラグビーW杯ウェールズ交流プログラム推進事業	RWC2019においてウェールズ代表が本市でキャンプを実施することに関連し、ウェールズラグビー協会とともに地域的な関心の高まりと機運醸成を目的とした各種交流プログラム等を実施する。	RWC2019開催に向け、キャンプ受入れが決定しているウェールズとの交流事業を実施することで、本番に向けての地域全体の盛り上げ及び機運醸成を図る。	11,000	11,000	0
7	○	○		<新>ラグビーW杯ウェールズキャンプ受入事業	RWC2019において本市でキャンプを実施することが決定しているウェールズ代表チームの受入等を行う。	ウェールズ代表チームのキャンプ受入の成功に向けて、キャンプ受入に関する環境整備及び施設の既存利用者との利用調整などを図るとともに、RWC2019及びウェールズ代表チームに関する機運醸成を強化する。		50,000	50,000

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心推進課		重点項目 ・安全・安心条例に基づき策定した行動計画に沿って、「日本トップクラスの安全なまち」及び「誰もが安心を実感できるまち」を目指して、さまざまな事業を総合的、継続的に推進する。							
	課長名	日々谷 健司		R1(2019)年度当初予算額(A)	84,343 千円	人件費	目安の金額	課長	0.5	人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	56,796 千円		係長	1.5	人	
				増減額(A-B)	27,547 千円		職員	4	人	
コスト	事業費									

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1			○	1万人の防犯パトロール 大作戦支援事業	地域の自主防犯組織である「生活安全パトロール隊」の活動を、より多くの市民等に周知し、活動参加のきっかけとしてもらうとともに、安全・安心な本市のイメージを内外に発信することを目的とする。	本事業は廃止し、他の方法で新規参加者の増加などを旨とする。	1,500		-1,500
2	○			生活安全パトロール隊活 動支援事業	本市の生活安全パトロール隊は、2004年度より、安全で安心して暮らせるまちづくりのために、地域の防犯パトロールや子どもの見守り活動等の自主防犯活動を実施している。 結成当初支給した支援物品が10年を経過し、更新時期を迎えていることから、活動に必要な物品を生活安全パトロール隊へ支給するもの。	支援物品の多くが更新時期を迎えており、生活安全パトロール隊から多数の更新要望が寄せられていることから、予算を増額し、その範囲内で物品支援を強化する。	600	1,717	1,117
3	○			北九州市安全・安心条例 行動計画推進事業	市民・事業者・行政(教育機関含む)が、本市の新たな「安全・安心まちづくり」を共に考え、一丸となって取り組めるよう、「北九州市安全・安心条例」の制定趣旨・目的等について理解を深める啓発事業等を実施するもの。また、その取り組みの成果を内外に発信するもの。	2015年度に策定した「北九州市安全・安心条例行動計画」が、2019年度で計画期間(5ヶ年)を満了するため、2020年度からスタートする第2次計画の策定に向け、計画の見直しを行う。 安全・安心推進員の業務内容を見直し、予算を減額した。	12,285	7,515	-4,770
4	○			子どもと女性の「防犯力 アップ」推進事業	「地域安全マップづくり」や「安全セミナー」を通じて、子どもの防犯意識や危険回避能力の向上を図る。 また、防犯の専門家による体験型セミナーを通じて、性犯罪の実態や防犯対策を学ぶことで、女性の防犯意識の向上を図る。	引き続き、「地域安全マップづくり」を市内7校で実施し、最後に活動発表会を開催し、振り返りを行うことで、次年度に向けてより良い取組にしていく。また、防犯の専門家による「体験型」のセミナーを「子ども」、「保護者・教員」、「女性」を対象に開催し、各々の防犯意識等の向上を図る。No10「未来を担う子どもの防犯推進事業」を統合したため、増額となった。	2,253	4,023	1,770
5	○			地域防犯対策事業	安全・安心条例に基づき、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	引き続き、市民・警察・関係団体等と連携して防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	28,650	28,725	75
6				防犯活動支援補助事業	本市における地域の防犯活動を推進している各警察署内の防犯協会等に対し、財政的な支援を行う。	引き続き、予算の範囲内で財政的な支援を実施していく。	5,700	5,130	-570

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
7				安全・安心課一般管理	安全・安心推進部(消費生活センター除く)の管理運営に係る経費である。	—	1,108	2,221	1,113
8	○			安全・安心イメージアップ推進事業	市内外での「安全・安心なまち北九州」PR活動を行うことで、市全体のイメージの向上を図る。	引き続き、本市の治安改善の現状など、市内外でのPR活動を実施する。	1,500	1,500	0
9	○			安全・安心まちづくり市民大会事業	安全・安心に関して活動する様々な団体が情報交換や交流を行い、「安全・安心活動の輪」を広げ、意識の高揚を図るため、「安全・安心まちづくり市民大会」を開催する。 (旧:本市のさらなる安全・安心なまちづくりに向け、防犯活動を行っている団体を顕彰するほか、本市ゆかりの著名人による講演会を開催する。)	安全・安心推進部で開催している他のイベントと合同で開催することによって、自治会負担が軽減できるよう見直し済み。	2,000	512	-1,488
10			○	未来を担う子どもの防犯推進事業	「教員から児童へ」「親から子へ」と知識を伝達させ、防犯意識や危機管理能力の向上を図るため、小学校の教員や保護者を対象とした講演会や体験型防犯教室を開催する。	No4「子どもと女性の「防犯力アップ」事業」へ統合のため廃止。	1,200		-1,200
11		○		<新>安全・安心施設整備事業	安全・安心条例に基づき、安全・安心なまちづくりを推進するために必要な施設の整備を行う。	—		33,000	33,000

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心都市整備課		重点項目 ・安全で安心な都市環境の整備を行うことにより、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。 ・交通事故のない環境を創出し、事故のない安全で安心なまちづくりを推進する。 ・市民等のモラル・マナーの向上を図り、迷惑行為のない快適な生活環境を創出する。							
	課長名	矢野 裕子		R1(2019)年度当初予算額(A)	222,005 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	237,172 千円		54,000 千円	係長	2	人
				増減額(A-B)	-15,167 千円		職員	3	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			防犯カメラ運用事業	犯罪の抑止効果と都市の安全確保のため設置した防犯カメラの適切な管理運用を行う。	防犯カメラシステム保守の契約内容の見直しを行った。	46,111	45,098	-1,013
2	○			防犯カメラ設置補助事業	地域団体や事業者が設置する、公共空間を撮影する防犯カメラの設置経費の一部を補助する。	地域の防犯活動支援のため、引き続き補助を行う。	13,800	13,800	0
3				繁華街における安全・安心施設運営事業	暴力追放と街頭犯罪抑止のため、繁華街における防犯カメラの設置費用を助成する。	これまでの補助実績を踏まえ、予算を減額した。	1,047	50	-997
4				繁華街における安全・安心施設運営事業(公共)	繁華街の安全・安心を確保するため、堺町安全・安心センターの管理運営等を行う。	業務委託(清掃業務)の廃止を決め、予算を減額した。	724	413	-311
5	○			通学路防犯灯事業	通学路において、市によるLED防犯灯の設置を行い、通学路の夜間の安全確保に取り組む。	業務委託(図面作成)の見直しや、事業の進捗状況を踏まえ、予算を減じた。	15,900	9,500	-6,400
6	○			街灯の管理(建替)	老朽化した街灯の建て替えを行う。	引き続き、維持管理費低減を図るためLED化を進める。	824	824	0
7				街灯の管理(維持)	街灯の維持管理に要する経費とする。	電気料金の改定分について改めて積算したことにより、予算増となった。	12,630	12,932	302
8	○			防犯灯設置事業	夜間における犯罪の発生を防止するため、LED防犯灯を設置し、安心して生活できるまちづくりを促進する。	これまでの設置状況を踏まえ、予算を減じた。	34,814	33,360	-1,454
9	○			防犯灯設置補助事業	LED防犯灯の設置促進を図るため、防犯灯を設置する団体(自治連合会、未加入団体)に対して、費用の一部を補助する。	業務委託(防犯灯情報更新)を見直し、予算を減じた。	4,185	3,185	-1,000
10				防犯灯維持管理事業(公共)	市設置防犯灯の維持管理を行う。	設置済みの防犯灯について、その維持管理を確実に進行。	18,026	18,025	-1
11				防犯灯維持管理補助事業	町内会等で設置する防犯灯の経費(電気代等)を補助する。	電気料金の改定分について改めて積算したことにより、予算増となった。	3,239	3,710	471

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
12		○		<新>防犯灯安全管理事業	市で設置した防犯灯(独立灯)の安全点検を実施する。	市が設置した防犯灯約15,000灯のうち独立灯について、老朽化に伴う事故等を防止するため、計画的に安全点検を実施する。		2,500	2,500
13	○			交通安全センター管理運営事業	北九州市立交通安全センターの管理運営及び交通公園内外における交通安全教室の実施等を交通安全教育に精通した事業者に委託する。	引き続き、交通公園での交通安全教室などで、自転車の安全運転を促進し、交通事故防止を図る。	27,573	27,767	194
14				交通安全施設整備事業	通学路に「文」マークを設置し、通学路での児童の登下校の安全を確保する。		1,600	1,600	0
15				交通安全推進団体補助金	交通安全推進団体の自主的な活動を促進するため、活動を助成する。		8,273	7,476	-797
16	○			交通安全推進事業	第9次北九州市交通安全計画に基づき、交通安全教育及び広報啓発活動を実施し、交通安全思想の普及および交通事故の防止を図る。	引き続き、交通安全運動での教育や広報啓発などを実施し、交通事故防止を図る。また、交通安全の推進施策全体として、より効果的かつ効率的に推進するため、No18「運転免許証自主返納支援事業」およびNo19「青少年交通安全推進事業」を統合した。	4,662	15,245	10,583
17				交通安全管理運営費(公共)	交通安全センター施設修繕及び維持補修費である。		310	310	0
18				山九交通遺児奨学金	高等学校等に在学する交通遺児に対して、返還を要しない奨学金を給付し、修学を支援する。	引き続き、生徒や保護者、学校などに対して市政だよりなどにより、本奨学金制度の周知を図る。	3,539	3,526	-13
19		○		<新>交通安全対策事業推進基金積立金	交通安全対策事業推進基金利子を同基金へ積み立てる。	交通安全対策事業推進基金利子を同基金へ積み立てる。		12	12
20			○	運転免許証自主返納支援事業	高齢運転者が加害者となる交通事故の防止を目的として、運転免許証の自主返納を支援する。	交通安全の推進施策全体として、より効果的かつ効率的に推進するため、No15「交通安全推進事業」へ統合した。	5,500		-5,500
21			○	青少年交通安全推進事業	青少年の交通事故防止のため、新小学一年生へ黄色い帽の配布や、中学生を対象とした自転車交通ルール検定などを実施し、交通安全の推進を図る。	交通安全の推進施策全体として、より効果的かつ効率的に推進するため、No15「交通安全推進事業」へ統合した。	6,500		-6,500
22	○			モラル・マナーアップ関連条例推進事業	小倉・黒崎地区を迷惑行為防止重点地区に指定し、4つの迷惑行為を対象に過料を適用することにより、迷惑行為のない快適な生活環境の確保を図る。	引き続き、重点地区(小倉都心、黒崎副都心地区)において巡視活動を実施する。	24,022	19,509	-4,513
23				迷惑行為をしない・させない人づくり事業	各年代に応じた内容のモラル・マナーアップ教育を進めるとともに、迷惑行為防止に向けた様々な市民活動への参加意欲を高め、活動の活発化を図るため、教育教材や啓発物品の提供等を行う。	学校、地域団体、NPO、企業等に対して、周知を行う。	3,893	3,163	-730

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 安全・安心相談センター		重点項目 ・事業者や市民が警察・行政とともに一丸となって、暴力追放に取組める環境を目指す。 ・交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者支援などの相談窓口に加え、市民の安全・安心にかかる相談を受け、市民サービスの向上を図る。						
	課長名	日々谷 健司		R1(2019)年度当初予算額(A)	55,153 千円	人件費	目安の金額	課長	0.5 人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	59,425 千円		係長	0.5 人	
				増減額(A-B)	-4,272 千円		職員	1 人	
コスト	事業費								

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			暴力追放啓発推進事業	市民等が暴力団排除の重要性についての認識を深め、暴力団排除のための活動に自主的に取組むことができるよう広報及び啓発に関する取組みを実施する。	警察・行政・市民とが連携・協力し、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整えるとともに、暴力追放に対する市民意識の高揚を図る。また、市民の不安感の払拭に向けて、警察などの関係機関と連携した暴追活動を引き続き行う。	4,531	3,453	-1,078
2	○			暴力追放運動推進補助事業	「北九州市暴力追放推進会議」や各区暴力追放活動推進団体及び「(公財)福岡県暴力追放運動推進センター」に対し、活動経費などの補助金を交付する。		3,070	2,767	-303
3	○			暴力団事務所撤去運動支援事業	市民等による暴力団排除の自主的な取組を支援し、社会全体での暴力団排除機運を更に高め、浸透させていくため、福岡県の制度と連携して、暴力団事務所として事務所を使わせないための市民運動・住民訴訟等の実施費用を補助する。		6,000	6,000	0
4	○			民事介入暴力相談事業	民事介入暴力相談員を配置し、民事介入暴力等の相談に応じ、相談者の問題解決を図る。		21,968	21,394	-574
5	○			安全・安心総合相談ダイヤル事業	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受けける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。		1,479	1,557	78
6	○			生活環境パトロール事業	市民の安全で快適な生活環境を確保するため、道路などを定期的にパトロールするとともに、市民等からの情報提供に迅速な対応を行う。		19,693	17,298	-2,395
7				犯罪被害者等支援事業	「福岡犯罪被害者総合サポートセンター」及び「性暴力被害者支援センター・ふくおか」の運営費の一部負担を行うことで、犯罪被害者支援施策の充実を図る。		2,684	2,684	0

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 消費生活センター		重点項目	消費者トラブルの解決支援、消費者被害の未然防止に努める。 自立した消費者の育成に努める。 計量行政の円滑な推進に努める。		
課長名	川原 泉	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	130,971 千円	人件費
				H30(2018)年度当初予算額(B)	141,110 千円	
				増減額(A-B)	-10,139 千円	
					目安の金額	課長 1 人
					109,000 千円	係長 3 人
						職員 9 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				消費生活センター 相談業務推進事業	消費者トラブルの解決支援のため、専門の資格を有する消費生活相談員による相談対応・情報収集等を行う。	相談体制の見直しを図る。	79,013	73,847	-5,166
2	○			消費者被害防止体制整備	消費者被害の未然防止及び消費者トラブルの解決支援のため、消費生活審議会や、専門家による相談会を開催する。	消費生活審議会、専門家による相談会を継続する。	1,139	1,130	-9
3			○	消費者啓発推進事業	消費者学級の支援を行い、消費者への啓発活動を推進する。	No.8「消費生活センター運営」への事業統合を実施する。	180		-180
4				消費者団体活動の育成	北九州市消費問題婦人協議会に事業を委託し、団体の活動を通して消費者への啓発及び消費者教育を推進する。	郵便発送回数の削減など、積算を見直し委託料を削減する。	3,736	3,000	-736
5	○			消費者行政推進事業	「福岡県消費者行政推進事業補助金」を活用し、消費者被害の未然防止及び自立した消費者の育成のための各種事業を実施する。	成人年齢引下げを見据えて、若年層への啓発等を強化する。	17,630	16,000	-1,630
6				計量一般事務	適正な計量の実施を確保するため、計量法に定められている特定計量器定期検査などの検査業務を実施するための経費。	一部事業の見直し等により、事業の効率化を図る。	21,266	18,611	-2,655
7				計量一般事務(公共)	計量法で定められた特定計量器の、検査、商品量目立入検査等に使用する質量比較器等を適切に管理保全するもの。	計量検査所庁舎を適切に管理保全する。	4,636	4,651	15
8				消費生活センター運営	消費生活センター所管の施設及び相談窓口の管理運営に係る経費(計量検査所を除く)。	No.3「消費者啓発推進事業」との事業統合するとともに、必要事業を拡充する。	2,894	4,616	1,722
9				消費生活センター運営 (公共)	消費生活センター施設管理に必要な経費(計量検査所を除く)。	消費生活センターの施設管理を適正に行う。	5,116	5,116	0
10			○	計量検査所恒温空調 機器取替	計量検査業務に必要な精密な分銅や質量比較器を保管する恒温室が故障等で計量法等に規定される保管条件を満たせない状況となっているため、エアコン等恒温室の空調設備の一部を更新し、適法な質量標準管理体制を整える。	—	5,500		-5,500
11			○	<新>恒温空調設備 等更新事業	計量検査所恒温室の室内条件を適法にするために必要な自動制御設備の更新を行う。	2019年度で事業終了予定。		4,000	4,000

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 美術館 普及課・学芸課		重点項目	・2017年11月にリニューアルオープンした本館の企画展、コレクション展を充実させ、本市の文化発信拠点としての機能を果たすことにより、「市民の生活に潤いと豊かさを創出し、地域とともに成長していく美術館」の実現を目指す。 ・美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」の対象者を、2018年度より市内の小学校3年生に拡充し、子どもたちのシビックプライドの醸成をはかっている。					
課長名	鐘ヶ江 祐二 西村 勇晴	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	322,069 千円	人件費	目安の金額	課長	2 人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	370,206 千円			係長	2 人
				増減額(A-B)	-48,137 千円			職員	9 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				美術品購入事業	美術作品を購入するための経費	所蔵品の充実を図る。	4,885	4,692	-193
2				美術館所蔵作品修復事業	所蔵する美術作品を修復するための経費	貴重な所蔵作品の中には、「剥離、カビ、破損」などの損傷が見受けられるため、修復を実施。	996	827	-169
3				美術品取得基金	美術作品を購入する事を目的とした美術品取得基金の利息分の費用(新たな積立はなし)	美術品の「円滑かつ効率的」な購入を推進するため、「北九州市美術品取得基金」への積立を行う。	17	10	-7
4	○			美術館企画展	美術館の企画展を開催するための経費	多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。 分館企画展の回数を4展から2展へ減らした。	139,517	108,184	-31,333
5	○			美術館コレクション展	美術館コレクション展を開催するための経費	年3回～4回展示しているコレクション展を充実させるため、明確なテーマを掲げた開催を行うとともに、公開講演会を実施し、広く市民に美術の魅力を伝える。	4,606	3,823	-783
6	○			美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」	市内の小学3年生を対象に、リニューアル後の美術館を舞台に美術鑑賞プログラムを実施する。	2018年度より、市内小学3年生全員(約8千人)を対象にした「初めての美術館体験」をコンセプトにした美術鑑賞プログラムを実施。2019年度継続実施。	35,000	33,199	-1,801
7				美術館教育普及事業	小中学生や市民が美術作品に触れる機会を創出するために実施するワークショップ、市内の小・中学生を対象としたたんけんバスポート事業の実施。	市民への教育普及活動の充実や学校教育と連携した事業を実施する。	2,640	2,192	-448
8				美術館管理運営事業	美術館の管理運営に係る経費	施設維持管理・保守及び情報収集・交換など美術館の適正な管理運営を図る。	162,848	162,848	0
9				美術館施設改修	美術館の建物・設備の維持補修に必要な経費	老朽化した美術館施設(大規模修繕工事対象外部分)の改修を随時行う。	4,997	5,587	590
10				美術館シャトルバスリース	美術館シャトルバス運行に必要なマイクロバス1台のリース料	車両リース期間:2017年10月から2022年9月まで。 債務負担行為(2018年度～2022年度)	700	707	7
11			○	美術館アネックス棟防水補修工事	雨漏りが激しい美術館アネックス棟の防水修繕を実施する。	2018年度事業終了。	14,000		-14,000

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局		重点項目	魅力的で集客力のある特別展の開催、集客の柱である団体客の誘致に取り組み、地域の賑わいの拠点施設としての魅力向上や更なる学術・文化の発展、教育普及活動の充実を図る。					
	自然史・歴史博物館 普及課・自然史課・歴史課			R1(2019)年度当初予算額(A)	325,027 千円	目安の金額	課長 3 人		
	課長名	福岡 賢司 真鍋 徹 日比野 利信		コスト	事業費		H30(2018)年度当初予算額(B)	330,620 千円	係長 6 人
							増減額(A-B)	-5,593 千円	職員 19 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			博物館企画展・特別展開催事業	調査研究や資料収集の成果を元に魅力ある特別展を開催することで集客を図り、地域の賑わいの拠点施設を目指すとともに市民文化の創造に寄与する。	集客力のある夏期の大規模展覧会や世界文化遺産に関連する展示など、時機を捉えた企画を特別展として開催することで、メディアの露出やタイアップの獲得を図り、効果的な集客につなげると共に外部資金(民間出資金)の獲得を図る。さらに常設展の目玉展示である「エンパイラマ館」の更新を3年間で計画的に行い、魅力の向上・インバウンド対応を進め、集客力の増強を図る。	17,922	17,922	0
2	○			いのちのたび博物館大規模特別展開催事業			32,000	32,000	0
3				いのちのたび博物館魅力向上・インバウンド対応事業	人気展示である「エンパイラマ館」のシステムやメカ類の更新を行い、さらに多言語化や新規演出の追加を行う。2018~2020年度(3年間)を事業期間とする。		30,000	19,000	-11,000
4	○			博物館セカンドスクール事業	博物館を第二の学校とし、子どもたちの理科・社会科への学習意欲の向上を図る。	社会見学や校外学習などによる博物館利用を更に促進し、博物館が第二の学校(教室)としての役割を果たすことができるよう学校団体の誘致活動を推進する。また、本市の誇るべき地質遺産や生物の多様性を学び、その価値を普及していく活動を推進する。館の資料については効果的な収集・整備に努め、展示の充実、調査・研究活動の向上につなげていく。	1,617	1,487	-130
5				ジオパーク活動推進事業	日本ジオパーク認定に向け、本市のジオパーク活動の活性化及び普及活動を図る。		1,552	1,427	-125
6				博物館教育普及事業	博物館講座・教室の開催により本市の学術文化の発展に資する。		1,178	1,083	-95
7				博物館資料収集・調査研究事業	学芸員の調査・研究を支援し、個々の資質向上を図る。また、資料収集により、展示の充実や調査研究に役立てる。		5,378	4,947	-431
8				博物館既存資料整備事業	保有する資料の中で、寄贈・寄託等による未整理・未修復の資料を展示可能な状態に整備する。		6,208	6,825	617
9				「小倉城と城下町の歴史(仮)」出版事業	小倉城・城下町の歴史を掘り起こし、わかりやすく提示する書籍を出版することで、市民等の知識と関心を高め、文化・観光資源として小倉城の価値を高める。		2,000	6,000	4,000
10	○			<新>東アジア友好博物館交流事業	韓国の仁川広域市博物館、中国大連市の旅順博物館との3館で会議や研究会、所蔵品を紹介する巡回展を実施し、国際文化交流の推進を図る。	当館が事務局となり、北九州市で10月より「館長会議」を開催する。特に2020年度に予定している巡回展(仁川市博が企画する住生活文化をテーマとしたもの)の内容や方法を協議し、企画書を作成・共有する。		1,800	1,800

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
11				博物館維持管理費	博物館の施設維持管理に係る経費。	予算の効率的な執行に努め、施設を適正に運営・維持管理していく。 公用車は更新する都度、リースに改める。	228,477	228,477	0
12			博物館運営事業費	施設維持管理以外の管理運営に係る経費。	4,288		3,943	-345	
13		○	<新>博物館公用車更新リース化事業	軽公用車の更新及びリース化			116	116	

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 松本清張記念館事務局		重点項目	2016年に改訂した「北九州市文化振興計画」を推進し、松本清張の偉大な業績を称え、後世に継承していくことにより、「芸術・文化によるまちづくり」に努める。この目標に沿った事業を展開し、清張文学の資料を収集し、研究するとともに、市内外に情報発信し本市のイメージアップを図る。		
課長名	在間 順一	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	81,584 千円	目安の金額 51,500 千円
				H30(2018)年度当初予算額(B)	79,639 千円	
				増減額(A-B)	1,945 千円	
				人件費		課長 1 人 係長 1 人 職員 4 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			松本清張記念館普及事業	①企画展(年1回)の開催 ②講演会・読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業	企画展は、開催を年1回とし、なお一層集客力のある魅力的な内容で、講演会等とともに開催していく。	8,769	6,283	-2,486
2	○			松本清張記念館研究センター事業	①松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業 ②松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業 ③研究誌発行事業	更に松本清張とその作品の研究を行うとともに研究発表会や研究誌の発行等により、市内外への情報発信に努めていく。	5,072	5,072	0
3				松本清張記念館管理運営費	館の管理運営に関する経費	—	20,437	20,055	-382
4				松本清張記念館管理運営費(公共施設)	館の維持修繕、管理等に関する経費	—	29,261	29,674	413
5			○	松本清張記念館開館20周年記念事業	開館20周年を記念して、講演会やコンサート等の多彩な事業を実施することにより、市民をはじめより多くの方に清張の人と作品に触れる機会の充実を図り、記念館の魅力ある事業や「文学の街・北九州」を発信する。	終了事業	14,000		-14,000
6				松本清張記念館施設整備事業	電気系統の老朽化に伴い、機器の更新等を行う経費	設備の経年劣化が進む中、故障時の重大な影響を及ぼす、空調自動制御中央監視装置の取替工事を行う。	2,100	17,000	14,900
7		○		<新>松本清張記念館魅力向上事業	松本清張生誕110周年を記念して、2018年度に調査を行った魅力向上調査に基づき、記念館の中庭のリニューアル等を行うことで、市民をはじめ、より多くの方に清張の人と作品に触れる機会をつくる。記念館の魅力向上を図ることにより、「文学の街・北九州」を市内外に発信するもの。	中庭に仮設ステージ・オープンカフェ等を整備し、様々なジャンルで活動している市民の個人・グループの発表の場の提供をする。ステージも客席も、様々な人数やジャンルに対応できるように移動自由なものとする。当館のイベントである朗読劇のほか、不定期にミニコンサートなどを開催し、賑わいを創出していく。		3,500	3,500

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 文学館事務局		重点項目	北九州市ゆかりの優れた文学者に関する資料の保存・収集及び調査研究の充実を図り、情報を発信することにより市民の誇りを醸成する。 ・多くの市民が文学に親しむ機会を拡大するため、企画展や講演会、文学講座の開催、文庫本の発行等の普及事業を実施する。 ・文学賞等を実施することにより、幅広い年齢層の文学界人材育成を目指す。			
	課長名	田中 直子		コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	70,572 千円
						H30(2018)年度当初予算額(B)	78,393 千円
						増減額(A-B)	-7,821 千円
		人件費	目安の金額		課長 1 人		
			59,000 千円		係長 1 人		
					職員 5 人		

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			文学館普及研究費	企画展の開催や、各種講座、研究事業等を実施する。	北九州ゆかりの文学者の調査研究の充実を図るとともに、集客力の高い企画展の開催に力を入れる。展示リニューアル工事に伴う休館を予定しているため、委託料等の見直しにより予算減となった。	19,455	17,132	-2,323
2				文学館管理運営費	文学館の管理運営に係る経費。	—	8,906	8,067	-839
3				文学館管理運営費(公共)	文学館の維持管理等に係る経費。	—	15,380	16,220	840
4	○			林芙美子文学賞	「林芙美子文学賞」に関する経費。	作家として書き続けていくことのできる力量を持った書き手に絞り込まれ、より文学賞らしい形で落ち着きつつある。受賞者のその後の活躍も紹介し、広報の充実に努める。	12,277	12,277	0
5	○			子どもノンフィクション文学賞	「子どもノンフィクション文学賞」に関する経費。	小中学生、学校関係者等への積極的なPRを展開し、認知度アップを図り、応募件数の増加に努める。	10,942	10,802	-140
6				文学館文庫発行事業	絶版等で入手困難な北九州ゆかりの作家の文庫本を発行し、「文学の街 北九州」の全国への発信と、本市の文化振興を図る。	リニューアル後の図録作製などに注力するため、文庫発行数を1冊とした。	2,000	1,000	-1,000
7				北九州市立文学館展示リニューアル事業	「北九州市立文学館展示リニューアル基本計画」に基づき、2020年のリニューアルオープンに向け、工事を実施。	2017年度に策定した「北九州市立文学館展示リニューアル基本計画」に基づき、2018年度は設計を実施。2020年のリニューアルオープンに向け、2019年度に前年度補正予算により工事を行う。 また、「展示用資料のレプリカ」の作製や「リニューアル後のリーフレットや図録等」の印刷物の発行、「ホームページの改修」等を行う。	9,400	0	-9,400
8				文学館電話交換機等設置	電話交換機等の交換作業を行う。	—	33	74	41
9		○		<新>宗左近生誕100年記念事業	北九州ゆかりの詩人・宗左近の生誕100年を記念した各種イベント等を実施する。	宗左近の業績を広く市民に伝えるため、シンポジウムなどの記念イベントや啓発事業を行う。また、ゆかりの地との交流も深めるとともに、顕彰活動をさらに推進していく。		5,000	5,000

令和元(2019)年度 課の事業一覧

組織名	市民文化スポーツ局 漫画ミュージアム事務局		重点項目	・漫画文化の振興を図るため、「見る」、「読む」、「描く」の3つのテーマに沿った魅力ある事業を実施する。 ・漫画の魅力・ポテンシャルを海外へ発信するとともに、海外インバウンドの強化を図る。 ・北九州スタジアムの完成や、都市集客アクションプランを踏まえ小倉駅新幹線口地区の賑わいを創出する。		
課長名	中原田 香織	コスト	事業費	R1(2019)年度当初予算額(A)	200,647 千円	目安の金額 44,000 千円 課長 1 人 係長 1 人 職員 3 人
				H30(2018)年度当初予算額(B)	216,733 千円	
				増減額(A-B)	-16,086 千円	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	令和元年度(2019)に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	平成30年度 (2018) 当初予算額 (千円)	令和元年度 (2019) 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			北九州国際漫画大賞	漫画の持つ魅力・ポテンシャルを国内外に向けて広く発信し、漫画文化の普及を図るため、北九州国際漫画大賞(漫画のコンテスト)を実施する。	2018年度は海外からの応募が飛躍的に増加したため、次年度は国内でのPRも積極的に行う。また、未来の漫画家を輩出できる取り組みを考えていく。	7,000	7,000	0
2	○			日中韓新人MANGA選手権	漫画文化の普及・振興を図るため、漫画家を志す新人クリエイターの発掘、国際的な活躍への支援を行う日中韓新人MANGA選手権(3か国持ち回り)を本市で開催する。	交流の促進と競争による人材育成を両立できる方法を検討し、2019年度の中国開催への準備を行い、引き続き新人漫画家の国際的な活躍への支援を行っていく。	10,000	5,000	-5,000
3	○			漫画ミュージアム普及事業	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	新規来館者及び固定客の増加に向けての魅力ある展示会の実施、イベントでのPR活動を実施し、漫画文化の普及及び都心のにぎわいづくりを推進していく。	59,050	54,379	-4,671
4				漫画ミュージアム管理運営費	一般事務費	—	140,683	134,268	-6,415